

## 2) 平成4年度のヒウオ生息状況

西森克浩・岩崎治臣・桑村邦彦・太田滋規・孝橋賢一

〔目的〕 ヒウオの分布や生息密度、成育状況等を調べ漁況予測の資料とする。

〔方法〕 角型幼生網（2×1 m）を用い、1 kmを10分で曳網した。調査水域は琵琶湖内の30水域である。

〔結果〕 本年度の水域別の調査結果について述べる。平均採集尾数をみると、10月期では、舟木～大溝沖の240尾が最も多く、最も少なかったのは、北比良～和邇沖の79尾、11月期では、海津～石田川の704尾が最も多く、最も少なかったのは、北比良～和邇沖の177尾、12月期では、海津～石田川が289尾と最も多く、最も少なかったのは、菖蒲～長命寺沖の89尾であった。各月通じて多かったのは、海津～石田川で、また、各月通じて少なかったのは、北比良～和邇沖、明神崎～舞子沖であった。平均体重をみると、10月期では、竹生島周辺の32.2 mgが最も大きく、最も小さかったのは、明神崎～舞子沖の9.7 mg、11月期では、海津～石田川の49.7 mgが最も大きく、最も小さかったのは、北比良～和邇沖の29.2 mg、12月期では、今津沖の107.9 mgが最も大きく、最も小さかったのは、菖蒲～長命寺沖の44.8 mgであった。各月通じて大きかったのは、竹生島周辺、海津～石田川で、また、各月を通じて小さかったのは、明神崎～舞子沖、菖蒲～長命寺沖、北比良～和邇沖の南部水域であった。各月通じて、平均採集尾数が多くて、しかも大型であったのは、海津～石田川で、平均採集尾数が少なく、しかも小型であったのは、明神崎～舞子沖、北比良～和邇沖であった。

ヒウオ平均採集尾数と平均体重の年比較について述べる。平均採集尾数をみると、10月期が最も多い年と、11月期が最も多い年がある。10月期が最も多い年は、産卵のピークが早い年であり、11月が最も多い年は、産卵のピークが遅い年である。本年の10月期は、136尾で、平年値307尾の44%と少なかったが、これは産卵期が遅れたためである。11月期は、363尾で、平年値284尾の1.3倍と平年を上回った。12月期は、179尾で、平年値149尾の1.2倍と11月期同様平年を上回った。平均体重をみると、10月期は、21.3 mgで、平年値22.8 mgの93%とほぼ平年並みであった。11月期は、38.8 mgで、平年値62.5 mgの62%と平年をかなり下回った。これは、9月下旬から10月中旬にかけての遅い時期に平年をかなり上回る産卵量があったために、11月期になっても加入してくるヒウオが多く、小型のヒウオの割合が多くなったのが原因である。12月期は、ヒウオが順調に成長し、また、小型魚の加入が減少したため、平均体重は、11月期の2.2倍の85.2 mgとなった。これは、平年値95.1 mgの90%で、平年値にかなり近づいた。

表1 ヒウオ生息状況（10月22，28日，11月19，20日，12月21，22日）

| 項 目     | 平均採集尾数（尾） |     |     | 平均体重(mg) |      |       |
|---------|-----------|-----|-----|----------|------|-------|
|         | 10月       | 11月 | 12月 | 10月      | 11月  | 12月   |
| 調査水域    |           |     |     |          |      |       |
| 南浜～早崎沖  | 213       | 221 | 135 | 28.6     | 36.5 | 53.2  |
| 塩津湾内    | 90        | 548 | 124 | 22.1     | 39.8 | 102.9 |
| 竹生島周辺   | 122       | 597 | 179 | 32.2     | 45.4 | 101.7 |
| 海津～石田川  | 152       | 704 | 289 | 31.9     | 49.7 | 88.5  |
| 今津沖     | 113       | 423 | 252 | 14.5     | 45.5 | 107.9 |
| 舟木～大溝沖  | 240       | 190 | 208 | 20.5     | 37.9 | 96.4  |
| 明神崎～舞子沖 | 83        | 192 | 145 | 9.7      | 33.2 | 63.7  |
| 北比良～和邇沖 | 79        | 177 | 141 | 11.0     | 29.2 | 67.2  |
| 上記全水域   | 136       | 363 | 179 | 21.3     | 38.8 | 85.2  |
| 菖蒲～長命寺沖 | 159       | 231 | 89  | 18.8     | 30.4 | 44.8  |

※ 菖蒲～長命寺沖は、昭和59年から新たに調査を実施しているため、全水域平均の算出には用いていない。

表2 ヒウオ生息状況の年比較

| 項目<br>年 | 平均採集尾数（尾） |     |     | 平均体重(mg) |       |       |
|---------|-----------|-----|-----|----------|-------|-------|
|         | 10月       | 11月 | 12月 | 10月      | 11月   | 12月   |
| 昭和57    | 986       | 523 | 315 | 22.1     | 66.6  | 103.4 |
| 58      | 91        | 426 | 295 | 24.2     | 40.6  | 94.8  |
| 59      | 78        | 29  | 8   | 23.8     | 119.6 | 146.8 |
| 60      | 56        | 174 | 76  | 13.7     | 75.9  | 95.1  |
| 61      | 43        | 101 | 47  | 15.6     | 62.0  | 139.6 |
| 62      | 60        | 63  | 35  | 48.2     | 85.0  | 85.5  |
| 63      | 540       | 242 | 92  | 26.4     | 74.4  | 104.6 |
| 平成 元    | 2,529     | 873 | 434 | 35.8     | 46.3  | 61.0  |
| 2       | 563       | 615 | 285 | 16.8     | 46.4  | 74.3  |
| 3       | 82        | 131 | 48  | 17.4     | 43.1  | 63.4  |
| ※ 平均    | 307       | 284 | 149 | 22.8     | 62.5  | 95.1  |
| 4       | 136       | 363 | 179 | 21.3     | 38.8  | 85.2  |

※ 昭和57年～平成3年の最大値・最小値を除く平均値